

事業所における自己評価結果(公)

対象職員 7名 回収 7名
回収率 100%

公表:令和5年 1月10日

事業所名 : コトノハ放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	5	2	居室内に密集しないよう、活動場所を分け少人数となるよう設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	5	0	配置基準は満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	1	出入り口部分が狭く、段差がある状況。車椅子等の出入りが難しい。そのため、生活介護事業所側の出入り口を使用し入室している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	0	日々の朝礼・終礼等にて、職員全体にて活動の見直しを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	頂いたご意見をもとに、業務改善を行っている。質問事項や業務改善の内容を通信等で家族に周知している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	事業所評価結果は、法人ホームページや倉敷市ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	外部の第三者評価を受け、法人ホームページで公表している。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	毎月事業所内研修を行い、資質の向上を目指している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	事業所内にて作成したアセスメントシートを活用し、日々の支援の中で課題アセスメントを取ったりしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	半年に1回、児の状況に応じてアセスメントシートの修正をし活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	日課、課題の内容は職員全体にて考え共有し提供している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2	0	放課後の短い時間の中では、プログラムが固定化してしまう児がいる。見直しを図り、児に応じた支援が提供出来るよう設定している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	0	利用児の利用時間に応じて、一日の流れやそれぞれの活動を設定している。集団活動を設定し個別での支援とは異なる狙いを設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	集団活動ではジョイント活動、リトミック等利用児同士で活動ができる設定を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	朝礼・終礼を通して当日や前日の活動の振り返りを行い、運営についての改善や利用児さんの個別課題の振り返り、様子についての共有等を実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	ケアコラボ(オンラインの記録システム)と連動し保護者にも公開することにより適切な記録を心掛けている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	設定されたモニタリング期限に合わせて、個別化された個別支援計画書の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2	0	ガイドラインに則って活動の展開は実施している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	児童発達管理責任者及び、担当の職員で参加をしている。参加前には対象児の姿や支援を共有し参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	通信等を共有させてもらい、情報共有・調整を実施している。トラブル等今年度はなし。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	0	医療的ケア児の受け入れなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	0	今年度就学前より移行した対象児なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	移行支援会議に参加し、児の当事業所での活動や引き継ぎ事項を伝えた。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	各事業所が主催する研修等には、職員が参加した。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	6	0	コロナ禍であったこともあり、交流の機会を設定することは難しかった。(設定したが、実施が出来ない)
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	0	「自立支援協議会 放デイ部会」に児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	引継ぎの際に、当日の様子を簡単にお伝えし、詳細な事項については「ケアコラボ」を使用している。

連携	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	0	必要に応じて、個別でのペアレントトレーニングを実施。また複数事業所と合同で実施している。加えて事業所内での保護者勉強会、情報交換会も実施している。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	変更点については、保護者・職員共に共有を図り同意を得ている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	保護者の力かたちでの悩みや相談に対して、職員それぞれが返答できるように、研修等を今後も実施していく。その場で返答が出来ない場合は、その後職員全体で話し合った後に家族に返答をしている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	0	保護者を対象とした勉強会・情報交換会を実施している。今年度はコロナ禍であったこともあり、積極的に集まる機会を設定することは難しかった。今後、感染状況に応じて機会を設定する。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	保護者の方からのご意見・要望についてはすぐに共有し、改善策等を毎月の通信の中で掲示していく。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	通信を毎月発行し、月間のスケジュールや行事予定、意見苦情への対応等を掲載している。またケアコラポにて行事やイベントの告知を行っている。
	③5	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	事業所内での情報共有を除き、個人情報保護に留意した情報のやりとりを心掛けている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	事業所内にて研修を行うとともに、事例検討を行い意思表示が難しい児への支援について話し合いを行っている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	0	ホフファイアの受け入れは行っているが、地域に向けた活動や地域の中での活動は実施出来ない。今後感染状況を見ながら活動の設定を行っている。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	作成したマニュアルについて、引き続きカウンター横に設置していくと共に、契約や事業所説明会時に周知していく。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	毎月避難訓練を事業所で実施。また、敷地内にて年に2回全体での災害訓練を実施した。
非常時等の対応	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	年に1回、虐待防止に向けた研修を実施。また事例検討や勉強会を行うことで、適切な支援の検討を行っている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	身体拘束を行う場合の対応について、職員間で共有している。対象児・家族には同意書をいただくとともに身体拘束をした場合に記入するシートを作成するとともに、月1回会議にて身体拘束適正に向けた話し合いを行っている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	アレルギーがある児は医師の指示書の提出を依頼しており、管理栄養士とも共有し配慮した食事提供をしている。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	事故・ヒヤリハット・意見や苦情等に関しては、各事例や対応を書面に記載し、職員間で回覧をして

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。